



メインテーマ

「生きがい」

人生100年時代

誰しもがウェルビーイングを感じ、
自己実現できるまちは

本シンポジウムは『生きがい』をテーマに掲げ、多方面から議論を深めたいと思います。また、例年にわたり共催を行っている高齢社会総合研究機構 (IOG) と未来ビジョン研究センター (IFI) に加え、今回、超高齢社会に関する課題を取り組みの一つに置いている東京カレッジとも連携を組みシンポジウムを開催いたします。

ウェルビーイングとは、心身ともに良好な状態にあること（いわゆる幸福）を指します。誰もがウェルビーイングを感じながら、**生きがい**を持ち自己実現ができる、そんな地域社会（まち）とはどのようなものなのでしょうか？ それを実現するために、我々は今から何を意識し、行動すればよいのでしょうか？

IOGおよびIFIは、数多くの研究から見出した新たなエビデンスを社会提言・政策提言 (Evidence-based policy making: EBPM) に繋げ、**ウェルビーイング**の最大化を目指した多様な取り組みに挑戦しています。

■日 時： **2023年 3月14日 火** 》 **14:00~17:00**

■会 場： 武田ホール（東京大学浅野キャンパス 武田先端知ビル5階）
オンライン配信 (zoom webinar) あり [地図はこちら](#)

■対 象 者： 高齢社会に関する研究・教育に興味を持っている方であればどなたでもご参加いただけます。

■定 員： 会場 200名／オンライン (zoom) 500名

■参 加 費： **無 料**

■共 催： 東京大学高齢社会総合研究機構 (IOG)、東京大学未来ビジョン研究センター (IFI)

■後 援： 東京大学国際高等研究所東京カレッジ



▲
参加申し込みはこちら

プログラムの目的

東京大学高齢社会総合研究機構 (IOG) および未来ビジョン研究センター (IFI) では、「地域活力と多様性のある超高齢社会の実現」に向けて、総合知を集結し、全国数多くの地方自治体・住民と共に課題解決型実証研究 (アクション・リサーチ) を展開してきました。

シンポジウムでは、前半でアクション・リサーチに取り組む研究者達によるジェロントロジー研究の数々を、超高齢社会の課題と取り組みについて「個人」と「社会」の両面から報告します。後半では、地域、環境、コミュニティを切り口に、連携 (つながり) により、誰もが生きがい・ウェルビーイングを実感でき、高めていけるサステイナブルな超高齢社会像について、実践者とともに議論します。

プログラム詳細

(敬称略)

開会の
あいさつ 飯島 勝矢 (東京大学高齢社会総合研究機構 機構長/未来ビジョン研究センター 教授)
城山 英明 (東京大学未来ビジョン研究センター センター長)
染谷 隆夫 (東京大学大学院工学系研究科 研究科長)
味埜 俊 (東京大学東京カレッジ 副カレッジ長)

高齢社会総合研究機構の最新研究進捗報告

生きがいの心理学からの可視化：菅原 育子 (西武文理大学 准教授/東京大学未来ビジョン研究センター 客員研究員)
生きがいのテクノロジーによる見える化：孫 輔卿 (東京大学高齢社会総合研究機構/未来ビジョン研究センター 特任講師)
ジェロンテクノロジー分野における最先端研究開発：二瓶 美里 (東京大学新領域創成科学研究科/高齢社会総合研究機構 准教授)
全国多くのモデルフィールドからのデータから何が見えるのか：田中 友規 (東京大学高齢社会総合研究機構 特任助教)
就労、目指す方向性と現実問題としての課題、今後克服するために：コスタンティーニ・ヒロコ
(東京大学高齢社会総合研究機構/未来ビジョン研究センター 特任助教)

キーノート (基調講演)

祐成 保志：「生きがいとウェルビーイングを考えるために」

(東京大学人文社会科学系研究科 准教授/高齢社会総合研究機構 副機構長)

Marcin JARZEBSKI：「超高齢化と人口減少社会を見据えたサステナビリティの視点」

(国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)・リサーチフェロー&アカデミックアソシエーツ)

パネルディスカッション

「人生100年時代：生きがいを持てる自分、生きがいを持てるまちとは」

- 総合司会：飯島 勝矢
- パネリスト：大月 敏雄 (東京大学工学系研究科 教授/高齢社会総合研究機構 副機構長)
祐成 保志
Marcin JARZEBSKI
大石 智史 (八王子市めじろ台地区まちづくり協議会)
下田 雅美 (株式会社うえるねす 会長)
文京区フレイルサポーター

閉会の
あいさつ 飯島 勝矢



飯島 勝矢



大月 敏雄



祐成 保志



Marcin JARZEBSKI



大石 智史



下田 雅美

【お問い合わせ】

IOG 東京大学 高齢社会総合研究機構
INSTITUTE OF GERONTOLOGY, The University of Tokyo

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 工学部8号館713号
https://www.iog.u-tokyo.ac.jp/
Mail : event@iog.u-tokyo.ac.jp

